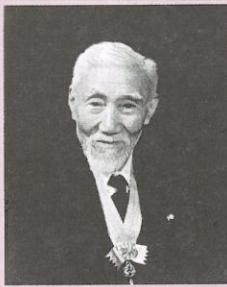


こみゅにてたいむ

ドイツ人慶應大教授が語る愛橋



田中館愛橋博士



慶應義塾大クナウプ教授

田中館博士は日本よりも外国で有名だった!? 日本を代表する科学者として多くの国際会議に出席した田中館愛橋博士は、行く先々で多くの人々に愛され尊敬されたといいます。

田中館愛橋会主催による「グローバル精神の先駆者としての田中館愛橋先生」と題した講演会が開催されます。実際にドイツに残っている愛橋先生のエピソードや、外国から見た愛橋先生、当時の日本の評価など、さまざまな話題を慶應義塾大学教授でドイツ人のハンス・ヨアヒム・クナウプさんが、わかりやすく日本語で講演します。

二戸が大好きで何度も二戸に訪れているクナウプさんが学者の目で見た愛橋先生のお話です。お説明合わせてご来場下さい。

日時 5月21日(火)午前11時より
場所 祖靈社(福岡字橋場12-13)

入場料 無料

問い合わせ先 田中館愛橋会事務局(☎25-5411 シビックセンター内)

その活動をステップアップ!

~市民団体活動推進補助金・説明会~

市は今年度から新たに「市民団体活動推進補助金」を創設しました。これはまちづくり団体・ボランティア団体・NPO法人などの市民団体、企業などがまちづくり活動を行う場合に経費を市で補助します。

補助限度額は30万円で、補助率は4分の3以内です。事業実施にあたり下記により説明会を開催しますので、興味がある団体の皆さんの参加をお待ちしています。どうぞお気軽に問い合わせください。

日時 5月17日(金)①午後3時~、②午後7時~ ※都合のよい方に参加ください。

場所 なにやーと3階会議室

問い合わせ先 地域振興課(内線382)

71杯目

一地域おこし協力隊通信

たかほの中



二かき目「二戸市の旬感」

昨

年11月に二戸市に移り住んで半年がたちました。

あつという間でしたが、今まで生活してきた中で最も充実した日々でした。その理由は、私たちを取り巻く自然環境の旬が分かりやすく、毎日二戸市の新しい顔と出会えるからです。

私が神奈川県に住んでいたころは、周りを高いビルに囲まれていて、自然と出会うためにはわざわざ遠方へ行くなど、緑を求めてコストをかけていました。そのような生活の中で、都市に住む人の生活圏と自然の間の接点は極めて小さい状況になつてゐると思いました。ですが、今はどうでしょう。

一方で、これらの自然環境の魅力について市民の皆さんと話をすると「この辺ではどこも同じような風景だ」と耳にすることがあります。確かに、地図で東北地方をとらえてみると、関東以北は森林が広がり、山・川・

稻庭岳に見守られ、馬淵川や安比川が作り出したりズミカルな音を聞き、巨木に生命のパワーをもらいながら、それらの自然資源が提供する山・川の恵みをいたく生活ができます。6ヶ月と短い期間ですが、自然と共に生きることの大切さや厳しさを実体験や地域の皆さんを通して学びました。

これからは、二戸市にある自然と共に生きている空間を「瞬間」ではなく、「旬感」という切り口で発信・創造できるようにお手伝いします。

(地域おこし協力隊・野澤優介)

《地域イベントの紹介》二戸の宝を訪ねる旅

足沢を歩く

~春の里山体験~



○日時 6月2日(日)

午前9時30分~午後1時

○集合場所 午前9時30分 足沢地区生活改善センター

○参加費 2,000円(昼食代、ガイド・山菜採り体験料)

○募集人数 15人(先着順)

○申込期限 5月24日(金) ○主催 ぎばって足沢70の会

○問い合わせ、申込先 地域振興課(内線383)